

B101		日本仏教史	
英名科目名	History of Japanese Buddhism		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	東館 紹見、平野 寿則、福島 栄寿、川端 泰幸、國賀 由美子、大艸 啓		
開講期間	2021年04月07日(水)～2021年07月28日(水) 4講時 14時40分～16時10分(毎週水曜日) 休講 2021/05/05(水) 2021/07/28(水)は試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	水曜日 4講時
単位数	2	履修年次	1～4学年
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100		
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	出席状況、平常の小レポートによる講義理解度、および定期試験の結果による総合評価。 平常点20%(出席状況)・授業内試験20%(毎時間提出する小レポートの内容)・定期試験60%(定期試験の結果)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	聴講料 15,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【質問・相談の方法】 授業終了時、オフィスアワーなどで随時受け付ける。</p> <p>【担当者からの連絡】 授業内容を単なる知識に止めないためにも、各自、自らの歴史、仏教への関心や、現代社会における諸問題等との接点を探りつつ受講してほしい。</p> <p>授業担当者の授業に関する記載可能事項：授業担当者の中に、高等学校において講師(宗教科、および地歴科)の実務経験がある者を含む。授業時の教授法および主体的学修態度の涵養に活用が可能。</p> <p>本学では、対面授業を想定して開講いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染状況次第では、実施方法やスケジュールに変更があることをご了解ください。変更等については、e京都(いーこと)ラーニングシステムを通じて掲示・連絡いたします。</p>		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【授業テーマ】 日本史上における仏教の展開過程とその歴史的意義</p> <p>【授業概要】 日本における仏教は、6世紀半ばの伝来以降、文化・思想・信仰の側面にとどまらず、政治・経済・外交等、それぞれの時代社会の状況と密接に関わりつつ展開してきた。本授業では、各時代・分野を専門とする教員によるリレー講義を通じ、各時代社会・分野と仏教との関係について理解を深めたい。また、日本史上での仏教(宗教)の果たした歴史的役割・意義についても考えてみたい。</p> <p>【学習到達目標】 はじめに、日本史上の時代区分とその意味、各時代における国家・社会と仏教について概要を述べる講義を聴き、以後の講義内容の全体的な理解への一助とする。以後、各時代・分野を専門とする教員による、具体的な事例に基づく講義を数回ずつ受講し、各時代・分野における国家・社会と仏教との関係について理解と考察を深める。</p>			

以上の内容を通じて、日本の歴史において仏教の果たしてきた種々の面での役割を知り、日本の歴史、仏教の歴史についての理解を深めるとともに、社会における宗教の果たす役割について考察を深められるようになることを目標とする。

講義スケジュール

【学習内容】

- はじめに(第1回)
日本の国家・社会と仏教を見てゆく視点(各時代の概観)
- はじめに(第2回)
日本史上の時代区分と、その仏教史上における意味
- 大谷大学博物館 見学
- 日本古代の国家・社会と仏教(第1回)
- 日本古代の国家・社会と仏教(第2回)
- 日本中世前期の国家・社会と仏教(第1回)
- 日本中世前期の国家・社会と仏教(第2回)
- 日本中世後期の国家・社会と仏教(第1回)
- 日本中世後期の国家・社会と仏教(第2回)
- 日本近世の国家・社会と仏教(第1回)
- 日本近世の国家・社会と仏教(第2回)
- 日本近代の国家・社会と仏教(第1回)
- 日本近代の国家・社会と仏教(第2回)
- 日本の仏教美術(第1回)
- 日本の仏教美術(第2回)

【授業方法】

- 第1～12回：授業内容を記したプリントによる講義
第13回：展覧の概要の紹介と博物館での見学
第14・15回：授業内容を記したプリント、及び画像等による講義

【準備学習(予習・復習)・時間】

- 第1～12回：プリントの内容の熟読と、講義を受けての再考察 90分
第13回：展覧の概要と見学内容に関する理解と考察 90分
第14・15回：プリントの内容の熟読と、講義を受けての再考察 90分

教科書	特に定めない。必要な史料・文献等は、各担当者がプリントし配布する。
参考書	辻善之助『日本仏教史』上世篇～近世篇之四(全10巻)(岩波書店、1944～55年) 家永三郎[ほか]監修『日本仏教史』古代篇、中世篇、近世・近代篇(法蔵館、1967年) 笠原一男[ほか]監修『アジア仏教史』日本編～(佼成出版社、1972年) 圭室文雄[ほか]『日本仏教史』古代、中世、近世、近代(吉川弘文館、1986～98年) 奈良康明[ほか]編『新アジア仏教史』日本～(佼成出版社、2010～2011年) 以上の全般にわたる主要な概説書の他、各授業担当者において重要と判断した参考書を、授業時に適宜紹介していく。